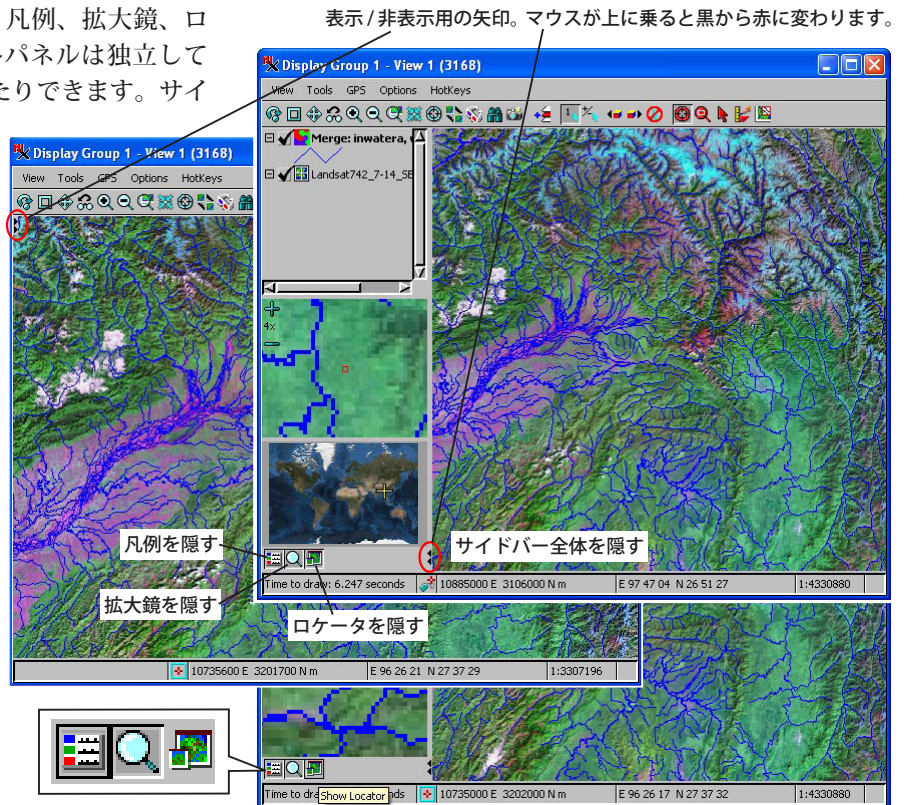


# サイドバーと拡大鏡ツール

表示ウィンドウのサイドバーには、凡例、拡大鏡、ロケータの3つのパネルがあります。各パネルは独立してマウスクリックひとつで開いたり閉じたりできます。サイドバー全体も開閉できます。パネルの縦方向の長さは**パネル間の枠をドラッグ**することで変えられます。デフォルトでは全部のパネルが開いています。最後に開いていたパネルの状態が次に画面を開いたときの初期状態となります。

パネルが閉じていると、サイドバーの下にある各パネルを表すアイコンボタンが押し込まれた状態ではなくなります。パネルは表示ウィンドウのオプションメニューからも開くことができます。3つのパネル全てを閉じるとサイドバーも閉じますが、表示画面キャンバスの左上にある矢印アイコンか、オプションメニューを使って開くことができます。全てのパネルを非表示にしてサイドバーを閉じた場合、最後に閉じたパネルを再表示してサイドバーが開きます。



10m ランドサット 7-4-2 画像 (マイクロイメージ社の Web サイトより参照可能) のインターネットタイルセット上に広域水系レイヤを重ねて表示。

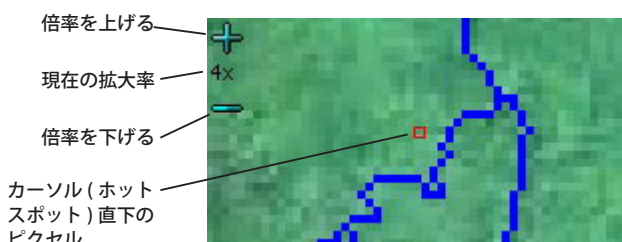
## 凡例パネル

凡例パネルではレイヤを直接ドラッグしたり、マウスの右ボタンメニューを使って描画順を変更できます。凡例中のマウスの右ボタンメニューには、〈レイヤコントロール〉ウィンドウを開いたり、表示名を変更したり、データの地理的範囲に表示を拡大したり、メタデータを参照するといった機能があります。凡例パネルでのレイヤ名の色は選択しているレイヤの状態を示しています。(テクニカルガイド「空間表示：レイヤの表示状態を示すヒント (Spatial Display: Subtle Display Hints in LegendView)」を参照)。

レイヤ数が多い場合、サイドバー全体を凡例にすることもできます (テクニカルガイド「空間表示：地図縮尺による表示コントロール (Spatial Display: Zoom to Make Visible & to Min/Max Detail)」と「凡例の結合 (Merging LegendView Entries)」で解説しています)。

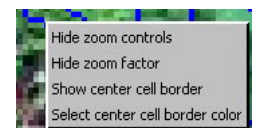
## 拡大鏡パネル

拡大鏡パネルにはマウスカーソルの周囲が拡大されて表示されます。拡大鏡パネルでは、表示画面キャンバス中の



カーソル直下のピクセルが赤の四角で表示されます。拡大鏡パネルの左上にある [ + ] と [ - ] のアイコンで、拡大されている画像の倍率を 2 倍から 16 倍の範囲で変更できます。現在の倍率が [ + ] と [ - ] アイコンの間に示され、既定値は 4 倍です。

拡大鏡パネルにはマウス右ボタンメニューが使い、以下の操作が可能です。倍率コントロールの表示 / 非表示、倍率の表示 / 非表示、中心セルの表示 / 非表示、中心セルを表示するときの線色の変更。



## ロケータパネル

ロケータパネルには全体図とともにキャンバスに表示中の範囲が示されます。ロケータに表示するレイヤはキャンバス画面に表示しているレイヤから取捨選択することができます。(凡例パネルまたは表示マネージャでマウス右ボタンメニューの表示 / 非表示チェックボックスを使用)。ロケータパネル中のサイズ可変ボックスの大きさを変えたり移動すると、表示画面内での縮尺と領域が変わります。表示マネージャで [ 表示 ] - [ ロケータウィンドウを開く ] メニューを選ぶとロケータを別ウィンドウで開くこともできます。ロケータの機能についてはテクニカルガイド「空間表示：ロケータによるズームと位置のコントロール (Spatial Display: Locator Reference View Manages Zoom and Position)」で解説しています。